

令和4年度職員採用試験（大学卒業程度）  
水産 専門記述試験（4.6.19）

次の2つの課題のうち、いずれか1つに回答しなさい。

= 課題 1 =

○ 水産物の消費拡大策について

我が国では近年、人口が減少に転じていることに加え、消費者の生活様式の変化等に連動して食に対する志向が変化し、水産物消費量の減少が続いているほか、広島県海域では漁場環境の変化や水産資源の減少などにより漁獲量が減少し続けています。

水産業が将来にわたって持続するためには、水産資源の回復、水産物の価値向上、販路拡大等を図ることが必要ですが、天然資源を計画的に漁獲することは困難なうえ、消費者の食の志向が変化する中で、市場が求める食材も変化し続けています。

このような環境の中で、水産業を持続的に発展させるため、水産物の価値向上や販路拡大を図る具体的な取組内容について、以下のキーワードを参考にし、あなたの考えを述べなさい。

※ 解答に、すべてのキーワードを使用する必要はありません。

キーワード：消費者ニーズ、食品衛生管理、地域、水産物の品質、  
水産物の旬、持続的な漁業、潜在的、水産エコラベル認証、  
HACCP※、販売先

※ 危害要因分析（Hazard Analysis Critical Control Point）

＝ 課題 2 ＝

○ 漁業取締について

本県海域は干満差が大きく、潮流が複雑なうえ、島嶼や岩礁が多くある中で、自動車運搬船や自衛隊艦船などの大型船のほか、小型で機動性のあるプレジャーボートや遊漁船も多く航行しています。

海面にはかき養殖筏等の施設が多く設置され、いわし船曳網、小型底びき網や刺し網、釣りなどの漁船漁業が営まれています。

このような海況の中で、水産資源を守っていくには、違法漁業に対する取締が重要となっています。

そこで、①漁業取締を安全に行うため、運航前の準備や整備、夜間航行の際に注意すべき点と、②漁業取締が本県の水産業にどのような役割を果たすかについて、以下のキーワードを参考に考えを述べなさい。

※ 解答に、すべてのキーワードを使用する必要はありません。

キーワード

- ① 海上衝突予防法，港則法，特定港，視界制限，信号，航路，巨大船，灯火，航路標識，気象条件，ディーゼル機関，ターニング，シリンダ，潤滑油
- ② 近隣府県，漁業法の改正，水産物流通適正化法，ナマコ

【参考】本県の漁業取締船の主要目ほか

- ① 船体 アルミニウム合金製 ステップ船首付きディープVオメガ型  
全長：20.71m 幅：4.60m 深さ：2.26m  
喫水：0.94m 総トン数 29トン
- ② 主機関 単動4サイクル直接噴射式ディーゼル機関 2基
- ③ 推進器 LC型5翼固定ピッチプロペラ
- ④ 航海計器 2舵連動型操舵装置，GPSコンパス，磁気コンパス，多機能レーダー，DGPS 航法装置
- ⑤ 性能 航海速力 35ノット以上
- ⑥ 船種 第4種船
- ⑦ 航行区域 平水区域
- ⑧ 乗組員 船長を含み5人